



JR九州高速船隠蔽問題で国交省処分！

隠蔽先導 役員2人解任



JR高速船の隠蔽問題で国交省は9月17日に「安全統括管理者・運行管理者」2人の「解任」を言い渡しました。解任は全国で初となる重大な処分です。また九州運輸局からは、5人の船長のうち代表者が船員法に基づく注意喚起と戒告の行政処分を受けています。

この問題は、昨年2月に浸水発生時に臨時検査を受けないまま運航を行ったとして国交省から一度目となる「安全確保命令」が出され改善報告書を国交省に提出していました。今年2月にまた浸水が発生しましたが、報告せず運航を続け、5月には浸水が736トンまで拡大したため、警報センサーを44センチから1メートル引き上げ、航海日誌や整備記録には「異常無し」の虚偽記載を行い裏管理簿まで作成しています。国交省の抜き打ち監査で隠蔽が発覚するまで4カ月も運航を続け、2度目となる「安全確保命令」も出されました。その虚偽・隠蔽工作が社長や会社幹部による指導で行われてきたことが明らかになるなど驚きの状態となっています。社員に対し安全第一で虚偽・隠蔽は絶対あってはならないと毎度のよう指導されてきたが、会社幹部が自ら行ったことが、会社幹部が自ら行ったことにより社員から、いったいこの会社はどうなっているのかと不満の声が上がっています。

海上運送法は知床観光船「カズワン」の事故から厳罰化され安全確保命令違反の場合、法人に最高1億円の罰金、個人には最長1年の懲役刑を規定しています。また2年連続して安全確保命令が出された場合、認可取り消しの厳重な処分もありえます。

親会社の責任は重大

この問題が起きたJR高速船会社と、JR九州とは別物であるかのような声がありますが、100%出資をしている子会社であり、親会社として子会社を支配する株主になります。親会社の取締役は、会社の重要な資産として子会社を管理し、親会社に損害を与えないようにする注意義務がありその責任は重大です。

安全確保命令が出された場合、認可取り消しの厳重な処分もありえます。

親会社の責任は重大

この問題が起きたJR高速船会社と、JR九州とは別物であるかのような声がありますが、100%出資をしている子会社であり、親会社として子会社を支配する株主になります。親会社の取締役は、会社の重要な資産として子会社を管理し、親会社に損害を与えないようにする注意義務がありその責任は重大です。

今回の隠蔽問題では、運航に係る社員は全員事情を知っていたと報道されています。早期に何故、社員から、指摘や通報が出来なかったのか悔やまれます。

JR九州は今年度から新人事賃金制度改正で、社員の成果主義が重視されてきました。成果を重んじるばかりに、こうした会社への問題を指摘する声などが躊躇されてくるのではないかと危惧します。

兵庫県知事の、パワハラ問題では、公益通報者の権利を侵害し、通報者が自殺する事態まで発展してしまいました。こうした内部通報を封じるような風潮があったのかどうか、職場内で声を上げることが困難な職場状態に追い込まれていたのではないかと、これからの調査が必要です。国労は、この問題発覚後、申し入れを行い、交渉を通じて明らかにしていきたいです。

がん保険にできることを、もっと。

NEW

「生きる」を創るがん保険 WINGS

1 幅広い保障で 経済的負担をサポート

2 がんサービス・アフラックのよきところをがん相談サポートに100%活用できる

アフラックのよきところをがん相談サポートが活用できる

がん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスです。

アフラックの保険契約による保障内容は各保険の要約書をご覧ください。

サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ (<https://www.afac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html>) をご確認ください。

〈専業代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)

アベニール株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5
交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

〈引換保険会社〉

「生きる」を創る、**Affac**

アフラック 東京第二法人営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1
丸の内センタービル13階
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885